

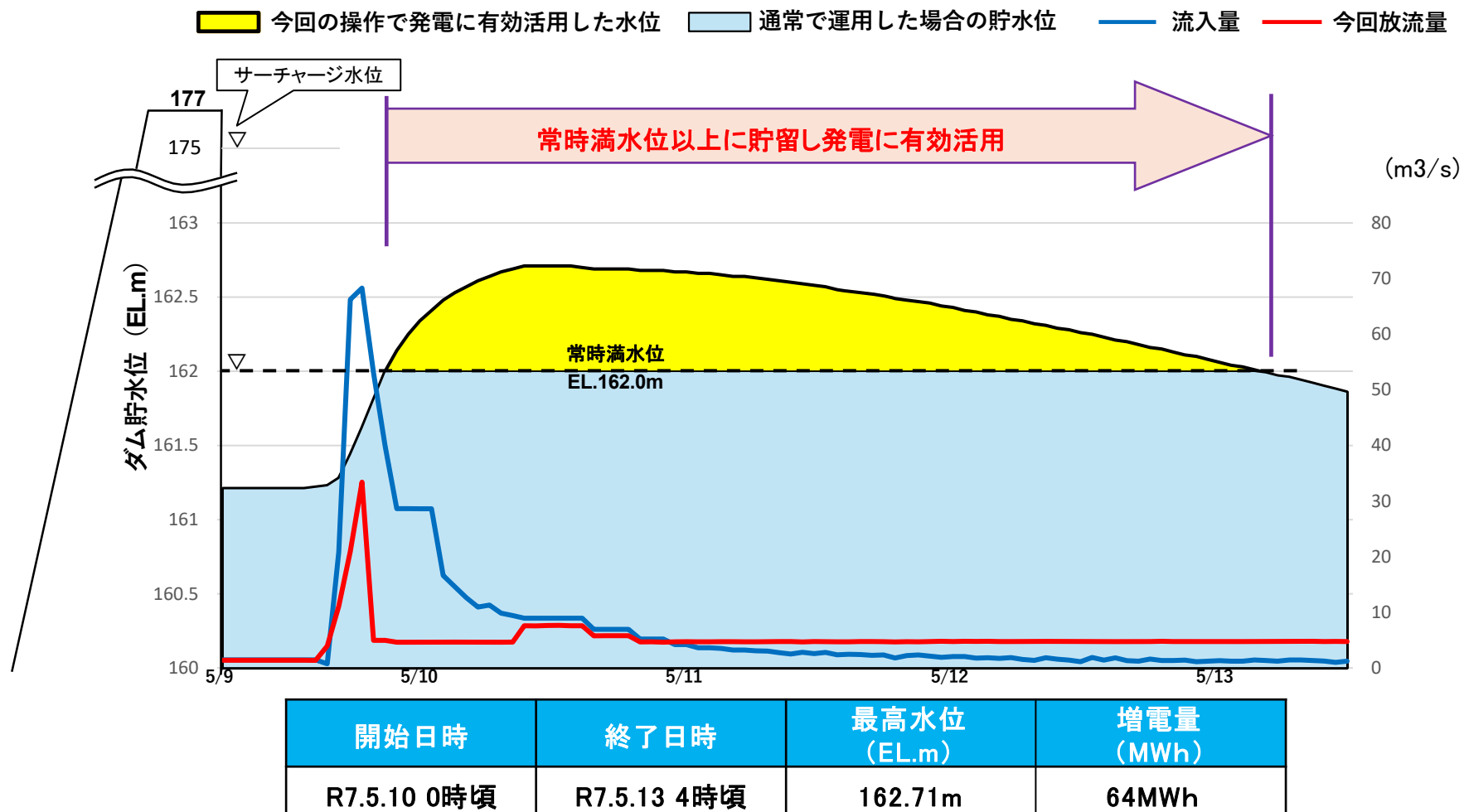
耶馬溪ダムにおける発電に資する水位運用高度化操作試行の実績

- 令和7年5月9日の出水において、令和7年5月10日から5月13日にかけて、耶馬溪ダムの流入量を一時的に貯留しダムの貯水位を上昇させ、発電量を増やす水位運用高度化操作を行いました。
- 貯留水を発電に有効活用し、通常の操作と比較して約64MWhの増電※¹となったと試算されます。これは、一般家庭約250戸が1ヵ月に消費する電力量※²に相当します。

※¹ 大分県企業局から提供。

※² 一般家庭の1ヵ月の消費電力量を260kWhとして試算。

【参考】水位運用高度化操作(ダムの運用の高度化)とは https://www.mlit.go.jp/river/dam/pdf/hybrid_dam.pdf



※開始日時は、水位運用高度化操作で発電に有効活用を開始した時刻。

終了日時は、放流量が流入量と同じ量となり、終了した時刻。